

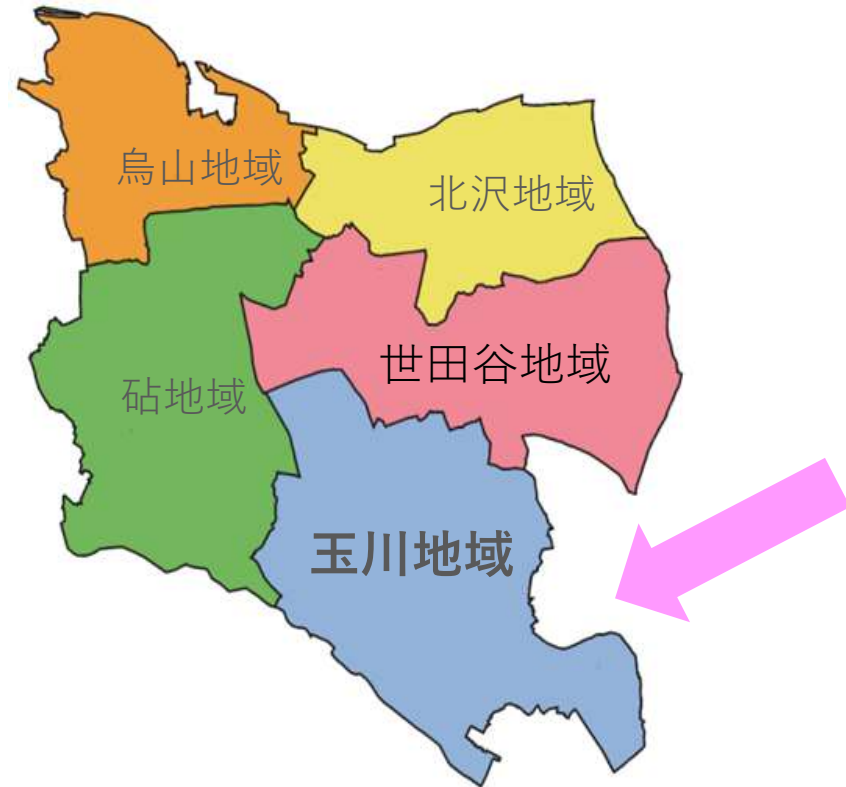


世田谷区  
SETAGAYA CITY

# 玉川地域 タウンミーティング

～より良い地域づくりを考える～

令和5年11月10日(金) 18時～20時  
玉川区民会館・玉川せせらぎホール



6月～9月

Step 01

# 車座集会

玉川地域内の7つの地区で開催。  
計179名が参加。

反映



11月

Step 02


# タウンミーティング

- 車座集会で出た意見
- 地域経営方針素案

反映



# (仮称) 地域経営方針

A photograph of a meeting room. In the foreground, a woman with short grey hair, wearing a pink top, is seated at a desk, looking towards the front. To her right, another woman with long dark hair, wearing a light-colored top, is standing and looking towards the front. The room is filled with people seated at desks, some using laptops. At the front of the room, a large projector screen displays a video of a man wearing a face mask. The room has a white wall and a ceiling with recessed lights. The overall atmosphere is professional and focused.

車座集会でいただいたご意見のご紹介(地区別)

## 奥沢まちづくりセンター

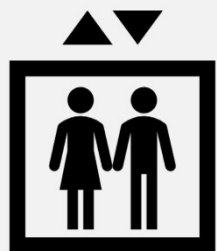
---



高齢男性のフレイル予防を目的に活動しているダンディエクササイズを全区に広めたい。



耐震化不足のため仮施設へ移転を重ねる奥沢区民センターについて事前に住民との意見交換を。



奥沢東地区会館を利用する高齢者のために、施設2階へ上がるための昇降機の設置を。

# 九品仏まちづくりセンター

---



誰もが安全、安心に移動できる活気ある  
街づくりをお願いしたい



スポーツを通じた交流の機会を世田谷区と共  
に広く進めていきたい



利用者の利便性を考えた施設づくりを進めても  
らいたい

## 等々力まちづくりセンター

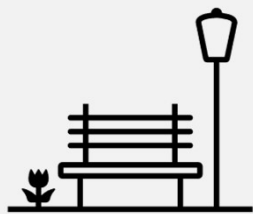
---



区立中の外部指導員をやっている。中学生に貴重な経験。組織を超えた交流は、必要。



世田谷の児童館は様々な子が一緒に過ごせる場所となっている。このまま続けてほしい。



子どもだけで遊べる児童公園が閉鎖された。危険のない身近な公園を考えてもらいたい。

## 上野毛まちづくりセンター

---



多摩川沿いから土砂災害警戒区域を通っての避難は厳しい。避難経路と避難所の見直しを。



「ものづくり」を通じての関わりなど、美大学生に地域活動への参加で信頼関係を作る機会を。



玉川野毛町公園拡張予定地に、避難所や投票所として使える施設を整備してほしい。

## 用賀まちづくりセンター

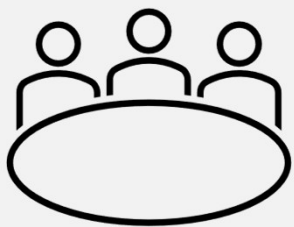
---



指定避難所運営は、教育委員会や避難所となる学校も協力し、生徒も参加する仕組みを！！



地域の若者が、地域の活動に参画できる多様な参加の仕方や関われるポイントを！！



上用賀公園拡張計画(防災拠点・スポーツ公園)  
地区コミュニティの拠点ともなるよう推進を！！



## 二子玉川まちづくりセンター

---



町会や民生・児童委員など、これからのまちの担い手探しに区のサポートを!!



子どもや子育て世代の居場所づくり 地区内に児童館や図書館を作ってほしい。



建設中の多摩川の堤防の完成形と暫定の差はいつ埋まるのか？天端通行への抵抗感は？

## 深沢まちづくりセンター

---



在宅避難を推奨しているが、避難所を増やす取り組みは行っていないのか。



地域の活動に関心のある保護者に情報が届くよう、情報の発信に積極的に取り組んでほしい。



マナーの悪い自転車が多く危険、マナー向上に行政と住民で連携し取り組んでいくことが必要。

# テーマ別の意見交換

# 玉川地域の特徴

- 玉川地域は、区の東南部に位置し、区内5地域のなかで最も広く人口は2番目に多い地域です。
- 民間による宅地開発などが行われたことで、他地域より早く区画整理が行われ、住宅市街地として発展してきたため、道路率、みどり率ともに高く、ゆとりのある住環境の市街地が形成されています。
- 国分寺崖線や等々力溪谷など緑豊かな自然環境に恵まれ、身近で自然に触れあえる場所が多くあります。各地区の町会・自治会、商店街は、コミュニティ形成の中心的な場として機能しています。



## (仮称)玉川地域経営方針(素案)～方針～

- ・玉川地域は、区民が安全に暮らし続けられる、自然や文化豊かで、便利で賑わいのあるまちづくりを区民、事業者、学校、活動団体等と連携して取組みます。
- ・令和元年に発生した台風第19号は、玉川地域においても甚大な浸水被害をもたらしました。これを教訓として地勢的な特徴を改めて認識し、震災はもとより浸水害・土砂災害時の減災に向けて、日々緊張感をもって取り組んでいきます。
- ・国分寺崖線等の豊かな自然や、由緒ある社寺、個性的な商店街など多様なコンテンツが数多くあるため、公共交通事業者とも連携して四季折々の魅力やイベントを情報発信し、地域を盛り上げます。
- ・地域の課題について、活動グループや団体、大学、事業者等の方々とネットワークを構築し、課題を共有しながら参加と協働によって、住みやすい玉川地域をめざします。

# まちの将来像と課題への対応方針

---

地域で育む安全・安心と笑顔のまち

国分寺崖線や等々力溪谷などの自然豊かな住みよいまち

にぎわいと元気あふれる魅力的なまち

## 発言にあたってのお願い

---

- ・テーマについて発言されたい方は、まず、挙手をお願いします。
- ・指名は、区長よりさせていただきます。
- ・指名された方は、お住まいの町名、例えば「〇〇二丁目の～です」というように、町名とお名前をおっしゃってください。
- ・在勤、在学の方は、「〇〇二丁目に勤務または在学の～」というように、勤務地・学校の所在地の町名とお名前をおっしゃってください。
- ・ご発言は、一人2分以内でお願いいたします。
- ・「1分前」のお知らせを掲げましたら、お話をまとめていただきますようお願いいたします。時間になりましたら「終了」のお知らせをいたします。
- ・一度発言された方で、再度、発言されたい方は、全員のお話が終わったあとに、お時間があればお願いいたします。

# 玉川地域 タウンミーティング テーマ(1)

---

## 地域防災力の向上



令和5年9月11日開設 避難情報や避難所の開設情報など様々な情報や、  
平時においても日頃からの備えに役立つ情報を掲載



# 被害想定

新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化をはじめ、東京都は最新の知見等を踏まえた首都直下型地震等による東京被害想定を新たに行い、令和4年5月25日に公表されました。（約10年ぶりの見直し）

## 世田谷区の新たな被害想定

- ①被害を受ける建物棟数の想定は、25,757棟（▲2044棟）
- ②停電率は18.9%（▲0.5%）
- ③上水道の断水率23.2%（▲7.6%）
- ④下水道管きよ被害率は5.6%（▲19.1%）
- ⑤避難所で避難生活を送る者（避難生活者）は、発災1日後は151,290人、4日～1週間後は168,224人、1か月後は52,374人となっている。

※発災1日後の避難所避難者数の大幅な減少についてい・・・減少した理由として都民アンケートに基づく各家庭の飲料の備蓄状況を反映したこと等が考えられる。なお、4日目以降の避難所避難者数については、断水率の見通しや、家庭の備蓄が費えることなどを考慮し、1日後よりも増加すると試算されている。

# 避難生活者の想定と玉川地域の人口等

1. 避難所で避難生活を送る者（避難生活者）の想定（全区）※再掲	
発災1日後	151,290人
4日～1週間後	168,224人
1か月後	52,374人

2. 世田谷区の避難所	
指定避難所（全区）	95か所
指定避難所（玉川地域）	24か所

3. 玉川地域の人口と世帯数（令和5年4月1日現在）	
人口	226,366人
世帯数	114,952世帯

# 在宅避難のすすめ

① <small>いっとき</small> 一時集合所	危険回避のために一時的に集合して様子を見る、または、避難のために一時的に集合するところで、区内に約 490 か所指定されています。
② 広域避難場所	火災の延焼などにより自宅、一時集合所が危険な状態になった場合に避難する場所です。区内外 24 か所を指定しています。

余震が収まり火災などの危険がないことを十分確認して

## 自宅の安全を確認

自宅が安全である

在宅避難

被災していない家族、  
親族、知人への連絡が  
取れる

縁故避難

自身で被災していない  
宿泊施設を確保できる

自主避難

火災や倒壊によって  
自宅で過ごすことが  
できない

指定避難所

### 避難所に行くことだけが避難ではありません

避難所はスペースや備蓄が限られており、環境の変化などによって体調を崩す人もいます。また、過密状態になると感染リスクも高まります。自宅で生活できる状況であれば、**在宅避難**をしましょう。そのために、日ごろから住宅の耐震化や家具の転倒・落下・移動防止を行い食料や水など必要なものを備えておくことが大切です。また、自宅に被害がある場合でも、被災していない家族や親戚、知人の家に避難する**縁故避難**や、被災していない宿泊施設を自身で確保して避難する**自主避難**という方法があることを知っておきましょう。事前に話し合いや情報収集をしておくことが重要です。

指定避難所は自宅での居住継続が困難な場合、または二次災害を受ける可能性のある場合に一時的に受け入れ、保護するための施設です。

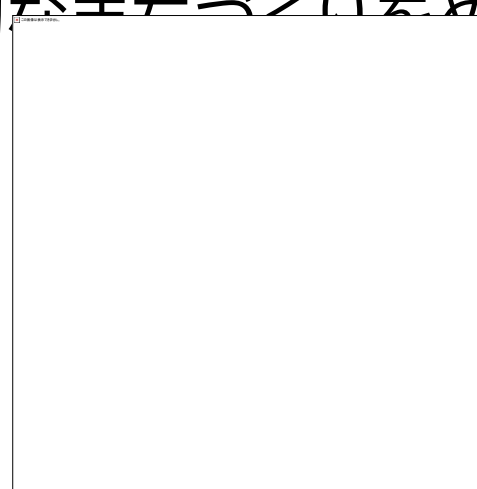
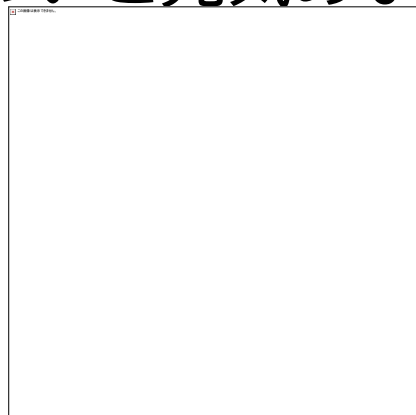


## 玉川地域 タウンミーティング テーマ(2)

---

地域の中で「つながる」ためのきっかけづくりについて

～にぎわいと元気あふれる魅力的なまちづくりをめざして～



# 玉川地域における活動例

## ●高齢者スマートフォン講座 各地区

高齢者の方のデジタルデバイド対策として玉川地域7地区のまちづくりセンターでスマートフォン講座を実施している。地域コミュニティを育む目的として、玉川地域にある産業能率大学の学生に受講者を支援するサポーターのボランティアとして参加いただいている。

## ●子ども見守り活動 深沢地区

退職後の男性が地域で活躍できる活動として、「子どもみまもりたい」を立ち上げ、小学校登校時の見守り活動や学校活動の支援を行っている。見守り活動としては、町会による登下校時の守り、わんわんパトロール隊による犬の散歩時のながら見守りなども行われている。

# 玉川地域における活動例

## ●ひがたまカフェDEお買い物 奥沢地区

町会や民生委員、行政機関等で組織された買物支援協議体を立ち上げて検討を進め、認知症 予防などを目的に町会会館で開催している「ひがたまカフェ」で食料品等を出張販売してもらう事業を開始した。

## ●ラジオ体操 等々力地区

新型コロナウイルス感染症により、地域の活動場所・機会が減少する中、雨天時でも開催できる場所として、玉川総合支所のコミュニティ広場を新たな活動場所とし、「定期的な開催（毎週月曜）」「多世代が参加できる（遅めの時間）」「誰でも気軽にできる運動（ラジオ体操）」として開始した。